

第5回 大田区基本構想審議会第3部会 議事要旨

日時	平成 19 年 12 月 21 日 (金) 午後 6 時 ~ 8 時
会場	大田区役所 202 会議室
出席者	伊藤委員 (部会長)、田中委員 (部会長代理)、熊倉委員、中島委員、 奈須委員 (五十音順)

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 配布資料の説明

4. 審議

第3部会の基本目標・個別目標について

【個別目標について】

地域力について

- ・ 以下3つを個別目標として提案したいが、どうか。
 - 区民一人ひとりが地域の原動力です、区民主体のまちづくりを実現します。
 - 区民一人ひとりが規範意識を高め、安心安全なまちをつくります。
 - 地域力が大田区のまちづくりの大きな力となります。
- ・ 企業やNPOなど、住民でなくても大田区の区民であることはこれまでも議論してきたので、それが分かってもらえる【目標案2】「区民主体のまちは、区民一人ひとりの力と地域力で実現します」がよいのでは。区民一人ひとりというだけでは、住んでいる人だけという印象を与えかねないので、目標のキャッチフレーズの中では「地域力」を入れておいて、文章の中で区民一人ひとりを説明したらどうか。
- ・ 「区民」よりも「地域力」という言葉がよい。説明文の中で世代を超えて小さい子どもや学生、老人なども含めて入れていただければ。
- ・ 「区民一人ひとり」が大事。【目標案2】がうまくまとまっている気がする。
- ・ 仮ではあるが、【目標案1】「地域力が、区民主体のまちをつくります」とした上で、説明文を付け加えていくことにする。文案としては、地域力、安全安心が明確になっているので、【文案1】でいくこととする。

地球にやさしいまち

- ・ 経済発展は目をつぶっても環境問題に取り組むべきとの認識が一般的になっている。大田区では中小企業が産業を支えている中で、「双方の持続可能」というのがこれまでの部会の議論。この決意を曖昧にせず、だれがなにをするのかを明確にする必要があると思う。基本的な構成は【1案】とした上で文末の表現を検討すればよいのではないか。
- ・ 【3案】は説明が足りないという印象。むしろ【1案】をベースにするのがよい。地域力では「区民主体」をキーワードにしている。それと合わせるのであれば【2案】だが、双方をブレンドする考え方もある。
- ・ 環境をよくするのは「区民」。「区民一人ひとり」を主語にした方がよい。
- ・ 「ものづくり」という文言は大田区においては重要なので、説明文に入れてはどうか。
 - 説明文の「持続可能なまちを実現します」という文章の最初に「ものづくりのまち大田区として」というのを加える。
- ・ 「地球環境に対する認識を共有し、連携する」では弱い。「責任を担う」という言葉が入る必要がある。誰かがやってくれるのではなく、自分たちも当事者として取り組むことを入れてはどうか。
- ・ 「ごみの減量」という表現では目標として小さい気がする。ごみの排出抑制の仕組みをつくるのが大切。
- ・ 「ごみ」というと生活のごみだけのような印象。生産の段階から廃棄物を出さないということが表現できるとよい。
- ・ 仮置きとして個別目標は【1案】「私たち区民が、環境と経済双方における持続可能なまちづくりの担い手です」とする。
- ・ 説明文の修正案は、以下の通りとする。「ものづくりのまち大田区として、環境と経済双方において持続可能なまちを実現します。そのためには、区民や自治会・町会、事業者、団体、NPO、区等、大田区を構成するすべての主体が、地球温暖化などの環境問題に対する認識を共有し、責任を担うことが必要です。特に省エネルギー活動の推進や、自然エネルギーの積極的な活用など、廃棄物の総量抑制に取り組み、限りある資源を大切かつ有効に活用する資源循環型のまちをつくります。」
- ・ 「温暖化」にもっと触れてもよいのでは。また、「水やみどり」は「活用」という表現しか出てこないが、「増やす」「発展させる」などの表現もあるとよいのでは。
- ・ 説明文の最後の段落は次の通りとする。「また、大田区の地域資源である水辺の環境を守り、緑化を積極的に推進するなど、水とみどりの調和したまちをつくります。」

区政体制

- ・ 以下3つを個別目標として提案したいが、どうか。

- 効率的な行政運営をし、区民参加の区政を整えます
 - 連携と協働のしくみを構築し、各組織同士のコーディネートを務める
 - 企業に対して社会貢献の促進を図り、活力ある区政を実現し地域を支える
- ・ 「区が変わった」ことを表す強い文言があった方がよいのでは。「区役所は地域を支え、活力ある新しい区政を行います」などはどうか。「新しい」というところがあつたほうがよい。
 - ・ 地域が主体になっていくことに対して、区が何かをやらないといけないという意気込みも入れてほしい。事務局でも何か意見はないか。
 - ・ (事務局) 基本的には委員の意見を尊重したいが、区としては地域力を我々がバックアップしていくという方向を持っているので、区民が自主的に色々やってくというスタンス。キャッチフレーズには「区政が変わったというイメージ」が入ってもいいのかなと思う。
 - ・ 【3案】をベースとしたほうがキャッチフレーズとしてしっくりくる。「活力ある区政」のほかに盛り込めることがあるか。どのような区政かということについて、新しい要素を含めて勢いのある言葉を加える案もある。
 - ・ 地方分権と言いながら、都や国との関係において「補完性の原理」がないのが実態。本来は住民に一番身近な自治体がその声を吸い上げて必要なことをするというあり方に変えないといけない。「自立した自治体」「主権を持った自治体」などの表現で「分権を進めていかないといけない」ことを大田区として発信できるとよい。
 - ・ 区民が主体となる大田区政である、ということを説明文の中にもっと入れてもよいのかも知れない。
 - ・ 「活力」という言葉がよいと思う。
 - ・ 「効率的」という言葉を前段に盛り込んだほうがよい。
 - ・ 区民も「効率性」には関心が高い。人減らしだけではなく活力もあるということで「効率的」を加える。
 - ・ 「効率的」については、「規律ある財政運営など」という一文を挿入することとする。
 - ・ 説明文に「区政情報の効果的な発信や説明責任の徹底など」とあるが、効果的な発信はテクニックのことなので、「説明責任の徹底や区政情報の効果的な発信など」として、説明責任を前にもってきてはどうか。
 - ・ 「連携・協働」「仕組みづくりを区が支援します」はぜひ盛り込んでいただきたい。
 - ・ 「より多くの区民が区政に参画し」「自らの思い」「仕組みづくり」などは、区民が区に何かしなければいけないというようにも取れる。高齢化の中で、自分から何かしなければいけないだけでなく、区が差しのべる部分も説明に入っていたほうがよいのでは。

- 「区民一人ひとりが主役」ということなので、参画するという要素は重要。この表現は、おまかせで区に全部やらせてもらおうということではなく、区民一人ひとりが参画するのが基本という意味である。
- ここでは義務的な考えではなく、「参加なくして自治なし」などの民主主義の基本の考え方を確認しているので、この表現でよいと思う。
- ・ 「自らの思いや願いを形にできる」という表現は修正するべきでは。抽象的、情緒的な印象。他人頼みのような感じがする。
- ・ 個別目標は【3案】「区役所は、地域を支え、活力ある区政を行います」として、説明文には「自治・自立」「効率性」を入れ込む。ただし、「区政を行います」という日本語が表現としてはどうかという意見があったので「区政を実現します」とする。また、主語の「区役所は」については現段階では残しておいて、おかしいということであれば後で削除することにする。
- ・ 説明文は以下の通りとする。「説明責任の徹底や区政情報の効果的な発信、規律ある財政運営など、区政の透明性と効率性を高めます。また、（大田）区は、住民にもっとも身近な自立した政府として、より多くの区民の参画のもとに、活力ある区政を展開します。」との説明文にする。
- ・ 「規律ある」については、行政運営だけではなく財政運営にも関連するので「行財政運営」としてはどうか。ご検討いただきたい。

【基本目標について】

（キャッチフレーズ）

- ・ 基本目標の説明文に「人と地球にやさしいまちを実現する」とあるが、「地域力」は生活そのものであると思う。生活に身近なというイメージがあったほうがよいのでは。
- ・ こちらの案に個別目標でこれまで議論してきたことが全部網羅されている。ただ、「織り成す」「奏でる」との表現について、もう少し言葉を選びたい。
- ・ 「地球」という表現が入っている方がグローバルにとらえている感じがする。
- ・ 【2案】について「循環」をいきなり出してきてもイメージがわきにくいので、【1案】の「人と地球にやさしい」という表現がよいのでは。
- ・ 地域力は「区民一人ひとり」であり、それがさらに区につながっていくということ。「区民一人ひとり」という表現があったほうがよいので【2案】をベースとしたほうがよい。
- ・ 【案1】を少し修正して、「地域力と行政が連携する 人と地球にやさしいまち」がよいのではないか。
- ・ 「区民一人ひとりが地域をつくり、行政と連携する、人と地球にやさしいまち」とする案もよいのではないか。

（説明文）

- ・ 「規範意識」との表現は抽象的なので「人やまちへの思いやりをもとに」のほうが具体的な感じがする。
- ・ 放置自転車、ポイ捨て、ごみの分別、給食費未払いなどの問題が大事ということをおもにこれまでにも強く申し上げている。この文脈をうまく表現したい。
- ・ 「道徳心、公共心などを培い」という言葉はどうか。人やまちへの思いやりと同時に公共的なことがらに責任感をもって考えるというイメージだ。
- ・ 「区民一人ひとりが大田区民としての意識を持ち」との表現があるとよい。
- ・ 地域力と地域資源は両方入れ込むべきなのか。地域資源はあえて入れなくてもよいのではないか。地域力の説明文のところでも「地域資源」という言葉が入っている。
- ・ 【1案】の「地域力と行政の連携」「人と地球にやさしいまち」を基本として、区民一人ひとりが地域力を支えていること、公德心や他人に対する責任感などの要素、人と地球にやさしいまちを実現する要素などを加えることとする。事務局と相談して次回までに文案をつくってご提示したい。

議論を深めるべき事項及び他の部会からの意見について

- ・ これについては、次回議論を深めたい。先日の区民意見交換会では「外国人にとって住みよいまち」「マンションの問題」「自転車の問題」などが出た。こうした意見も踏まえて議論していく。

5. 閉会

以上